



# 「生徒会」×「連携」

12月に都野津の古民家を活用して行われるイベント\*で、江津高校と江津工業高校の生徒会が連携してイベントに参加することになりました。

両校の生徒会メンバーがオンラインで自己紹介を行い、このイベントの連携に期待することを話しました。「お互いの高校のことを知ってもっと仲良くなりたい」「これをきっかけに、今後もイベントの開催などで交流したい」といった意見が交わされました。各校の生徒会長に、イベントへの意気込みを語っていただきました。

古民家  
ミラデ  
ツナゲル。



## ■ 江津高校

生徒会長 山根 泰斗 さん

顔合わせの中で、今回のイベントに対する想いを出しあえたことが良かった。このイベントを通して、地域の皆さんや江津工業の方々ともコミュニケーションをとることが楽しみ。今後も協力してイベントをやっていききたい。



## ■ 江津工業高校

生徒会長 日野山 知峻 さん

普段は他校との交流が無いので、今回のイベントを通して江津高校と一緒に取り組めることが、とても楽しみ。本イベントを通じて、お互いを知って仲良くなり、イベント後も協力しあえる関係を作りたい。

## ※ 都野津古民家学生イベント

[日時] 12月5日(日) 10時～14時

[場所] 都野津町 竹林邸古民家とその周辺

[内容]

江津高校	KAWARAプロジェクトの実践(コケ/居心地/神楽/歴史観光/ごみ問題)等
江津工業	竹のオブジェ作成
都野津体育協会	物販/子どもが遊べるもの 等

主催/都野津古民家プロジェクト実行委員会

共催/Go▶GOTSUコンソーシアム

後援/江津市教育委員会

「アオハル52」は鳥根県江津市にある県立学校3校と一緒に学校生活を楽しみ、学んでいく様子をお届けする情報誌です。昨年度から江津高校、江津工業高校、江津清和養護学校の3校で「まちで学ぶ」を考えるチーム、「GO▶GOTSUコンソーシアム」が

立ち上がり、それぞれの特徴を活かしたプロジェクトを行っています。

学校同士はもちろん、地域、企業と一緒にさまざまな「学び」「楽しみ」を作っていきたいと思っています。この情報誌では、そういった連携の様子をお届けしていきます。



江津高校  
×  
小学生



### かわらっ子クラブ活動

都野津アプリコを会場に、小学生の夏休みの学習支援、神楽道具やプラバン作り、折り紙作品など文化系部活動生徒による体験活動を行いました。2年ぶりの開催でしたが、多くの小学生が参加してくれました。また、次回を楽しみにしてください。



江津高校  
×  
地域



### 1年生 Gotsu ヒトコトモノ Tour

「総合的な探究の時間」KAWARAプロジェクトとして江津市内12か所に出かけて、職業体験や職業説明を受けました。職業に対する思いをお聞きし、地域の財産を感じるとともに、地域の課題を考えるきっかけになりました。

江津工業高校  
×  
江津本町



### 「おてつたび」を通じた地域連携

10月24日(日)、建築・電気科3年生の地域課題に取り組む生徒たちが江津本町で「おてつたび」を通じた活動に参加しました。地域の方や参加した大学生と交流を図りながら、古民家の障子の張替えと町並み保全のために付近の清掃作業を行いました。作業内容や大学生生活のこと、勉強している内容など話しながら進めていきました。地域の方から「来てくれて、ありがとう」「とても助かりました」、大学生からは「高校生のうちから、こういうことを経験できてすごいですね」という言葉をいただきました。

江津工業高校  
×  
県立大学



### 多様な進路選択と地域課題を大学生から学ぶ

11月2日(火)、大学の学習・生活などについて学ぶとともに地域課題を考えるワークショップを開催しました。5時間目は「地元企業と連携した商品開発の取り組み」、ボランティアサークル<sup>コネクト</sup>gönextの「江津を元気にする活動、授業の時間割、アルバイトなど」について話を聞きました。6時間目は「地域の不便や危険を感じる箇所の改善方法について」のワークショップを開催しました。

本校では、今後も県立大学様のご協力を得ながら、地域課題について考える機会や探究の機会を生徒に提供したいと考えています。

江津清和  
養護学校

### 清和あれこれ

### 「学校看護師」

江津清和養護学校は、肢体不自由(手足などの身体の動きに不自由がある)の児童生徒や、病弱(病気のために継続して医療や生活上の管理が必要な状態にある)の児童生徒が通う学校です。中には、気管切開(自分の力でスムーズに呼吸することが難しいので、のどに穴を開けて気道とつながっている)をしていたり、胃瘻(自分でご飯を食べることが難しいので、胃と直接つながるチューブをお腹につけて、栄養を胃の中へ送る)をしていたりする児童生徒がいます。

こうした医療を日常的に必要とする児童生徒への「医療的ケア」は命にかかわる問題で、毎日欠かすことができません。そうした児童生徒の健康や安全を守り、より良い体調で学習に取り組めるように

支援しているのが学校看護師です。

江津清和養護学校には、2名の学校看護師がいます。2名とも学校看護師になる前は病院で勤務していました。病院とは違う学校という場で今までの経験を生かしながら、教員や主治医など多くの職種と連携し、児童生徒が安心・安全で豊かな学校生活を継続できるように取り組んでいます。

江津清和養護学校には、感染症にかかることが命に関わる児童生徒も通っています。この新型コロナウイルスの流行によって、学校看護師は気が抜けない毎日を送っています。

新型コロナウイルスと闘う最前線の医療現場だけではなく、命を守る現場がここにもあることを知ってほしいと思います。

